


和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和 5年 9月 20日

和泉市長 あて

団体名 内田町ボランティア 蛭の会

代表者名 田中 数也 

所在地 和泉市内田町二丁目 14-26

電話番号 0725-24-5466

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	蛭の放流・鑑賞会
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	580,000 円 (うち、対象経費 580,000 円)
支援金 交付申請額	290,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	ウチダチョウボランティア ホタルノカイ		
団体名	内田町ボランティア 蛍の会		
市内事務所の所在地	〒594-1156 和泉市内田町二丁目14-26		
	【専用事務所 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話	080-5099-0303	F A X ()
フリガナ	タナカ カズヤ		
代表者氏名	田中 数也		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ		電 話 ()
	上記同上		F A X ()
設 立 年 月	平成15年 5月	主な活動地域	内田町ひつじの公園内 蛍の小川
会報等の発行	有 (回発行) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	会員数	20人
メールアドレス	@		
ホームページ	http://		
団体の目的	開発や造成工事などで自然環境の悪化が進行し、幼少期にこの地域で見られた蛍が全く見れなくなりました。そこで、もう一度この地域から蛍が見れるようにし、少しでも自然環境の改善に関心をもってもらう活動をしています。		
主な事業内容	年間を通じて、小川の清掃を行い蛍の餌となるカワニナや、メダカ、ドジョウを放流し年に一度、蛍の放流・鑑賞会を実施。		
主な活動の実績	活動当初はこの地域に蛍が全く見られなかったものの、現在数は少ないが、自生しています。		
国・府・市及び 各種団体等から 他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	蛍の放流・鑑賞会
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等	
<p>近年、和泉市では開発や造成工事が進んでいます。昨年より、ららぽーと和泉周辺でも大型施設の開発もあります。住みやすくなっていますが、その一方で自然環境が悪化しており、以前なら地元で多く見られた蛍が姿を消しつつあることに危機を感じています</p> <p>この活動を続けてきたことで、昨年度放流した蛍が卵を産み、今年数匹ですが河川敷を飛んでいるのを確認しました。継続的に放流を行っていきたいと思います。</p>	
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果	
<p>イベントを通じて、蛍の幻想的な乱舞を肌で感じてもらうことで自然環境への関心をより一層深めてもらい、参加者に少しでも自然環境の改善につなげていくことで、将来的には、蛍が自生出来るような環境になればと考えています。</p> <p>加えてこのイベントが、地域の方から、遠方からイベントに参加してくれた方々までコミュニケーションづくりのきっかけになっていると感じています。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。	
<p>年間を通じて小川の清掃を行い蛍の餌となるカワニナや、メダカ、ドジョウを放流し年に一度、蛍の放流・鑑賞会を実施しています。</p> <p>清掃活動としては、来場者の為の駐車場の草刈りを5月ごろより行い、年4～5回、イベント会場周辺のゴミ拾いや危険因子を把握、安全策を徹底し事故のない安心、安全なイベントを心がけています。</p> <p>蛍の放流・鑑賞会では、桃山学院大学からも授業の一環としてボランティア参加（令和5年度は15名）していただき、一緒にイベント活動をしています。また、地域の方による竹細工の体験ブースや地域の子ども会が露店等を出店しイベントを盛り上げてくれています。</p>	
②実施期間（日時）	蛍の放流・鑑賞会：令和5年6月中旬（日は現在未定） 清掃活動：年4～5回程度
③実施場所	和泉市内田町三丁目 ひつじ公園 蛍の小川
④主な対象者	全ての市民市外の方
⑤参加予定者数	1,000人
⑥告知方法	SNS等

5 事業スケジュール	
次期（月）	内容
通年 6月	小川清掃 蛍の放流・鑑賞会
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	特定の人に限定せず、広く地域以外の方に当イベントに参加して頂き、実際に近くで蛍を鑑賞した。また参加者自らが放流する事で、蛍を身近なものと感じてもらいたい。そして、自然環境について少しでも考えて貰える機会となり、社会貢献の増進に繋がると考えている。また、参加者同士のコミュニケーションづくりの場所になっていると実感しています。
② 継続性	蛍の放流イベントを始め、20年継続している事業である。本事業が自然環境について考えるきっかけとなり、自然環境への関心が深まっていけば、自然環境の改善にも繋がっていくと考えている。補助金だけではなく、来場者の募金、子ども用の出店及び地元企業からの寄付等で財源確保に努めている。
③ 実行性	自然環境への関心をもってもらうため、来場者が自ら蛍を放流できる機会を設けており、近くで蛍を鑑賞することができるイベントとなっている。 地元の構成員と、桃山学院大学生らのボランティア参加によって人材の確保をしている。 イベント当日はたくさんの方が来るため、駐車場混雑時の誘導及び警備の体制も整えている。
④ 協働性	特定の人に限定せず、広く地域以外の方にも鑑賞してもらい、交流イベントを通じて、世代間の交流が生まれ、蛍の幻想的な乱舞を肌で感じてもらうことで自然環境への関心をより一層深めてもらう。 町会や桃山大学生らボランティアの協力もあり、事業を実施している。
⑤ 公開性	SNS等を活用し、情報発信をしている。こども向けの体験型イベントを催し、特定の人に前提せず、広く地域以外の方にも鑑賞してもらい、自然環境への関心を持ってもらう。
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	蛍を実際に見たことがない方々、特に子ども世代に自然に触れて欲しいという保護者が増えております。本イベントでは蛍を放流することや近くで鑑賞できたとうれしいお声もいただいています。また来場者の方々とのコミュニケーションを図り、地域の発展につながればと思っています。昨年よりも更にSNS等を活用して、参加者を増やしていき、広くひろがりを見せるイベントとなっていけばと思っています。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称：蛍の放流・鑑賞会

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	290,000 円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	140,000 円	募金額 60,000 円 イベント収益費 80,000 円
自主財源	150,000 円	町会協力費 50,000 円 団体負担金 100,000 円
合 計	580,000 円	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	50,000 円	蛍飼育管理謝礼（菓子折り） 参加賞（うちわ：@113 円×400 枚）
消耗品費	370,000 円	ホテル放流用コップ、イベント用品 源氏ホテル幼虫 @280 円×1,000 匹
食糧費	6,000 円	スタッフ飲料代 @200 円×30 人
役務費	4,000 円	ボランティア保険代（30名分）、指定ごみ袋
委託料	150,000 円	駐車場誘導・警備費
合 計	580,000 円	
対象経費	580,000 円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書 追加資料

1 団体名	内田町ボランティア蛍の会
2 事業名	蛍の放流・鑑賞会
3 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース ■ ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
4	令和5年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。 昨年よりは参加人数は増加したが、まだコロナ以前の参加人数には達していない。定期的な広報を行い参加人数の増加を期待したい。 イベント終了時間後に来た一部のグループが、ゴミのポイ捨てや音楽等をかけ他人が嫌がる迷惑行為が見られる。 改善策としては、迷惑行為禁止の看板やイベント終了後にも巡回を行う。
5	令和6年度事業において以下のことについて記入してください。 ・新たに取り組む事項 ・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項 ・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に变化がある事項 等
	SNSをもっと活用する。地元のこども会とイベントを協賛する事で、来場者の増加を図る。 目玉である蛍は予算の大半を占めます。支援金が無ければ、イベント自体が継続出来ず成り立たない。 イベント活動を継続することで、当会の自然環境への関心をもってもらうメッセージを効率よく伝えられる。

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。